

令和8年2月28日

子どもの日本語教育研究会第11回大会

日本語初期集中指導教室（プレクラス）の役割と可能性

—体制作り、指導目標と指導内容、在籍校への繋ぎ等の視点から—

（元豊橋市教育委員会）築樋 博子

（知立市教育委員会／NPO法人みらい）越智 さや香

（浜松市立浜北北部中学校）佐々木 しのぶ

（高岡市教育委員会／NPO法人アレッセ高岡）青木 由香

1. 本パネルの趣旨

・文部科学省「外国人児童生徒等の教育の充実に関する有識者会議」

「学校生活への円滑な適応や、生きた日本語の習得、日本人児童生徒等との人間関係の構築、関わりを通じた社会的・情動的発達等の観点から、在籍学校・学級との交流や、一定期間の後早期の在籍学校・学級での学びへの移行が重要」

・文部科学省「令和6年度外国人の子供の就学状況等調査」

学校入学前や入学後初期段階に、初期の日本語指導等を集中的に行う「プレクラス・初期指導教室」

令和5年度136自治体

令和6年度132自治体

2. 本パネルの流れ

1. パネルの趣旨説明
2. 報告者紹介
3. パネル発表

3.1 プレクラスの様制作り

- 3.1.1 【報告1】知立市 早期適応教室「かきつばた教室」
- 3.1.2 【報告2】豊橋市 初期支援コース「みらい」

越智さや香
築樋博子

3.2 指導目標と指導内容

- 3.2.1 【報告3】浜松市 初期日本語指導拠点校「にじ」
- 3.2.2 【報告4】知立市 早期適応教室「かきつばた教室」

佐々木しのぶ
越智さや香

3.3 在籍校への繋ぎ

- 3.3.1 【報告5】豊橋市 初期支援コース「みらい」

築樋博子

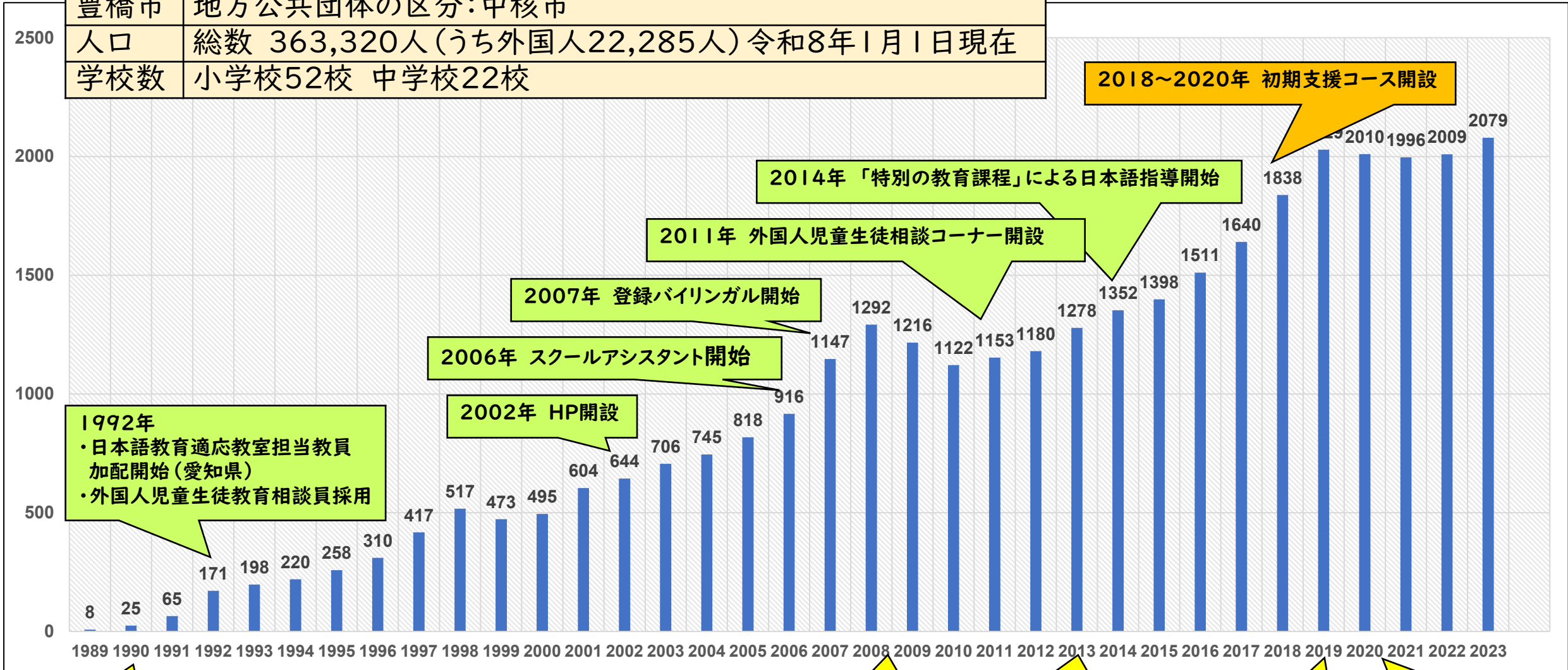
4. ディスカッション

3.1.2 【報告2】豊橋市 初期支援コース「みらい」

築樋博子

豊橋市における外国人児童生徒数の推移と支援体制の整備

豊橋市	地方公共団体の区分: 中核市
人口	総数 363,320人 (うち外国人22,285人) 令和8年1月1日現在
学校数	小学校52校 中学校22校



1990年
入管法改正

2008年9月
リーマンショック

2013年
日系人帰国支援事業
再入国許可

2019年
入管法改正

2020~2021年
新型コロナウイルス
感染症のまん延

初期支援コース開設の背景にある中学校の課題

課題1

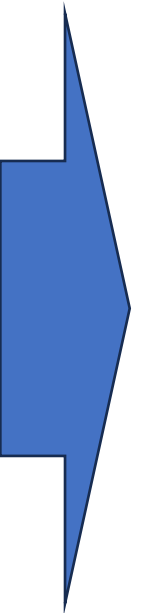
- 言語教育としての日本語に関する専門的な知識が求められる日本語初期の指導は、担当教員の負担になっていた。

課題2

- 年度途中の突然の編入も多く、指導時間や指導内容には依然として学校間の格差があった。

課題3

- 中には、滞日期間が短く、日本語が十分に習得できないため、希望しながらも日本での進学を諦めた生徒もいた。



初期支援コース開設

年度	在籍人数	受け入れ対応
平成30年度 (2018)	1838人	◆ 中学生 に特化した初期支援コース「みらい東」を豊岡中学校内に開設
令和元年度 (2019)	1897人	◆ 中学生 に特化した初期支援コース「みらい西」を羽田中学校内に開設
令和2年度 (2020)	2009人	◆ 小学生 に特化した初期支援コース「きぼう」を岩西小学校内に開設
令和5年度 (2023)	2045人	◆ 初期支援コース「みらい西」(羽田中)内に、 小学生コースを併設

集住地域

散在地域

集住地域

散在地域

散在地域

集住地域

3コースとも指導者は、

- ・正規教員2名
- ・ポルトガル語**相談員**1名、タガログ語相談員1名
- ・日本語**相談員**1名
(相談員は、市の会計年度任用職員)
- ・多言語対応として、登録制の有償バイリンガルボランティアを教育委員会から派遣。

市の予算で、3年間に
9名の相談員の増員

共通理解のために「Q&A」を作成



	Q&A	頁
*	令和5年度の「初期支援コース」について	1
1	初期支援コースの対象は、どのような児童生徒ですか。	3
*	ようこそ豊橋の学校へ(学校教育課 窓口案内文書)	4
2	初期支援コース通級の申し込みはどうするのですか？	5
3	初期支援コースへはどのように通級しますか。	6
4	警報発令時の登下校や、災害時の引き取りについては、どうなりますか？	7
5	通級に際して、どんな服装をしますか？	7
6	欠席連絡は、どうしますか？	7
7	指導体制や学習期間・時間はどのようになっていますか？	8
8	初期支援コースでの授業料はどうなっていますか？	8
9	学習内容はどのようになっていますか？	8
10	指導期間の短縮や延長はありますか？	9
11	発達障害の児童・生徒も初期支援コースに通級できますか？	9
12	通級中、学校保健関係の扱いは、どのようにしたらいいでしょうか。	10
*	初期支援コース通級児童生徒の保健検査の扱いについて	12
13	初期支援コース通級中、在籍校での行事の扱いはどのようになりますか？	13
14	初期支援コース通級中、在籍校でのテストや評価はどうすればよいのでしょうか？	14
15	初期支援コース通級中の「特別の教育課程編成・実施計画」の扱いはどうなりますか？	14
16	在籍校へ登校する金曜日の給食は、どのようにしたらいいでしょうか？	14
17	初期支援コース通級中の集金は、どのようにしたらいいでしょうか？	14
18	初期支援コース通級中の教科書の配付は、どのようにしたらいいでしょうか？	15
19	初期支援コースとの連絡調整はどのようにしたらいいでしょうか？	15
20	金曜日に児童・生徒が在籍校へ登校してくる時に、すべき配慮はありますか？	15
21	初期支援コース通級修了後の指導は、どのようなことをしたらいいのでしょうか？	15
22	初期支援コースに通級を希望しない場合、支援はありますか？	16
23	初期支援コースで学習している様子を見学することはできますか？	16
*	初期支援コースでの指導の申込書	
*	初期支援コースへの通級について(依頼)	
*	生徒に関する個人情報保護について	

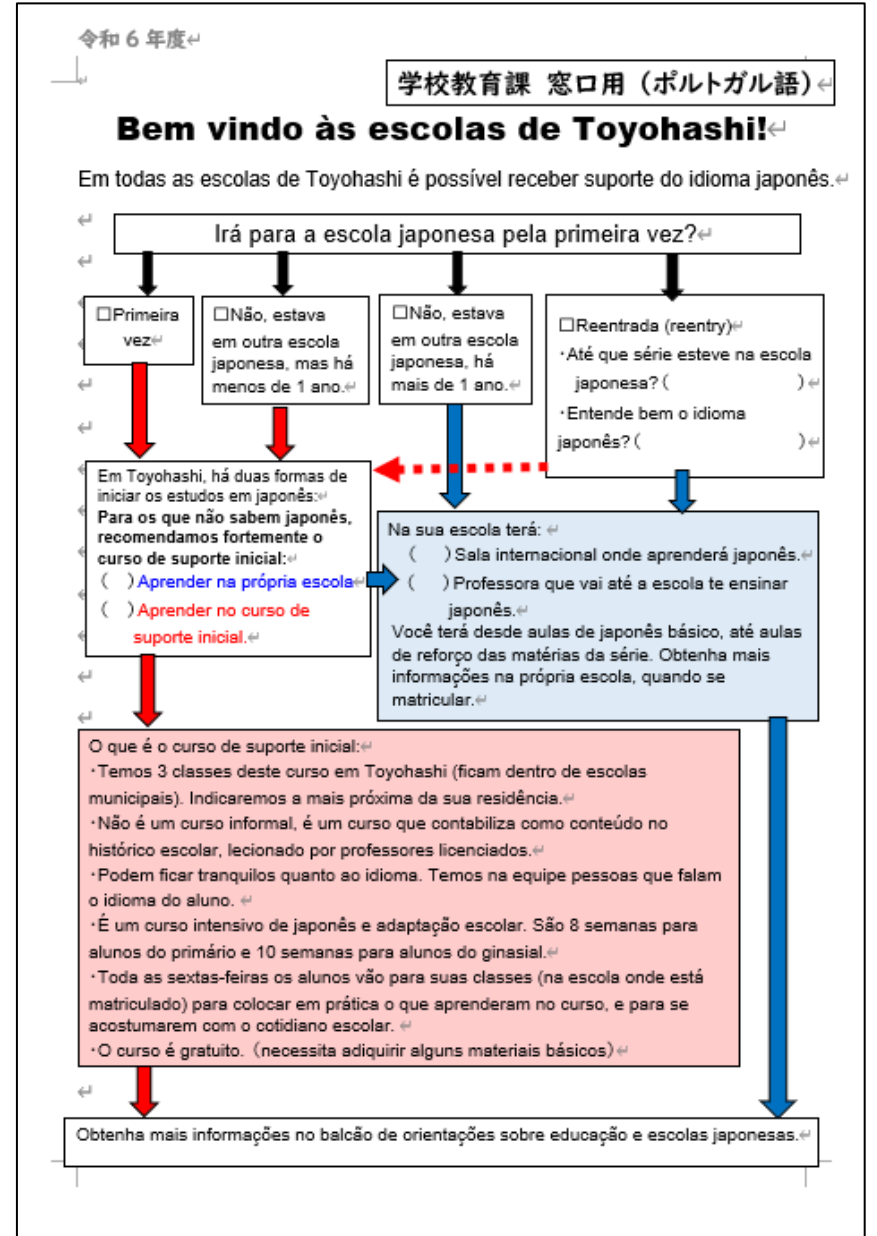
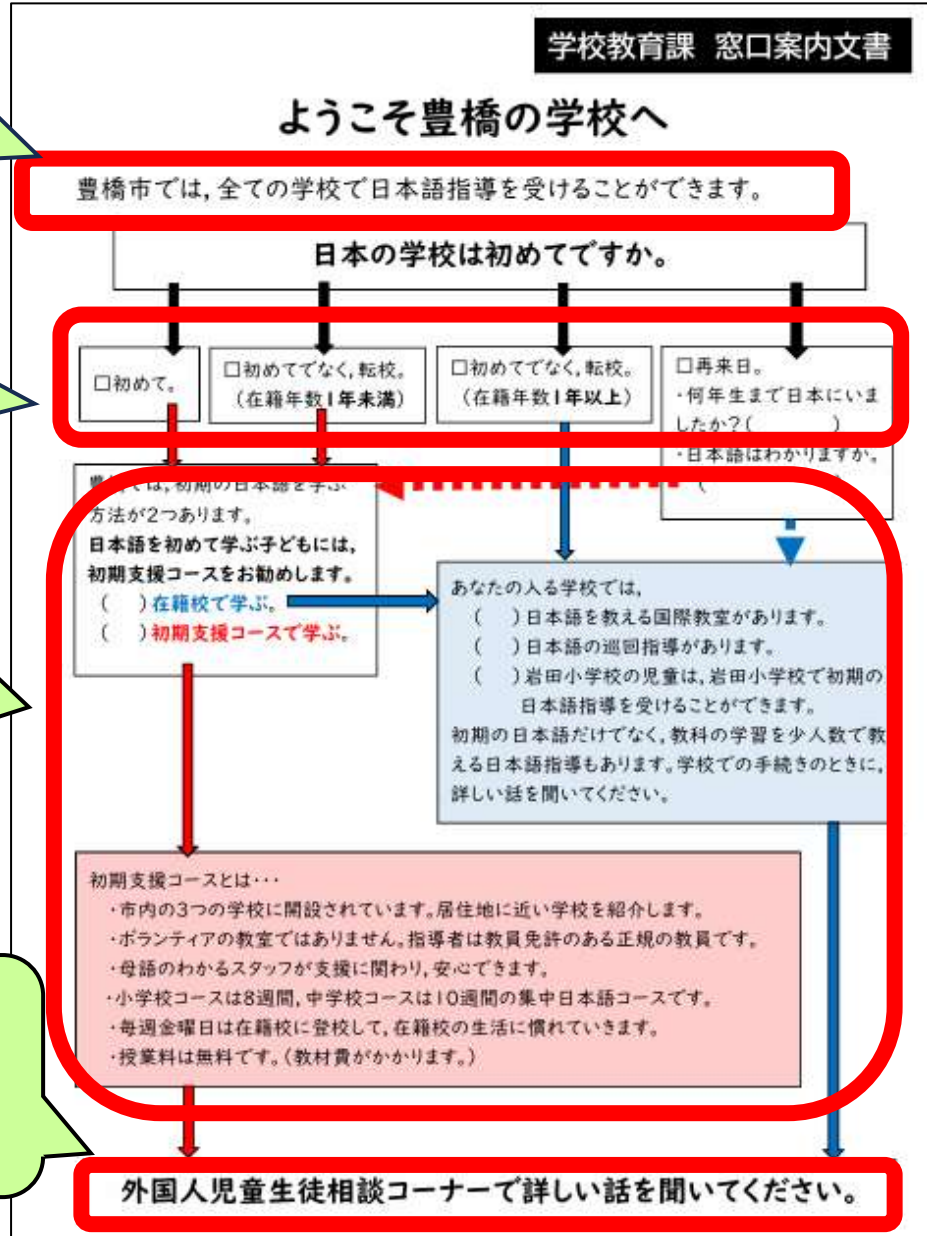
入級の流れ (教育委員会での転編入手続き時に紹介)

豊橋市では、全ての学校で日本語指導を受けることができるというメッセージ

アンケートで、対象を絞る

在籍校と初期支援コースでの日本語指導について、簡単に紹介

学校教育課の外国人児童生徒相談コーナーで詳しい説明。



初期支援コース通級中の「特別の教育課程編成・実施計画」の扱い

2014年「特別の教育課程」による日本語指導開始

【参考】文部科学省「特別の教育課程」による日本語指導Q&A

Q32 指導計画は誰が作成するのでしょうか。

「特別の教育課程」により日本語指導を行う場合には、児童生徒の在学する学校において学校長の責任の下で指導計画を作成し、学校設置者に提出するものとします。

指導計画は、日本語指導担当教員や学級担任・教科担当教員等が連携して計画するようにします。指導補助者の意見も参考にすることが望ましいでしょう。

他校等に児童生徒が通って「特別の教育課程」による日本語指導を受ける場合であっても、指導計画の作成は、児童生徒の在学する学校長の責任の下で作成するものとします。

豊橋市「初期支援コースQ&A」 Q15

通級中の「学校設置者に提出する指導計画（「特別の教育課程編成・実施計画」）は、在籍学校の「学校設置者に提出する指導計画」に書き足しをします。

通級中の「個別の指導計画(様式1・様式2)」は、初期支援コースの教員が作成し、評価を行います。この「個別の指導計画」は、通級指導修了後、速やかに在籍校に引き継ぎます。

なお、初期支援コースでの「特別の教育課程」については、指導要録の「総合所見及び指導上参考となる諸事項」に「特別の教育課程」による指導を受けた授業時数、指導期間、指導内容等を記載します。

記載文例

・初期支援コース「みらい東（豊岡中学校）」で、日本語初期指導や日本語と教科の統合学習を10週間（200時間）受けた。

複数期の生徒+少ない指導者→習熟度別グループ分け

	2年の漢字	1年の漢字	カタカナ	ひらがな
9月17日の週		① ③ ⑤	⑥ ⑦ ⑧	⑪ ⑫
24期生				
25期生				
26期生				
27期生		②④	⑨	⑩
9月24・30日の週	① ③ ⑤	⑥ ⑦ ⑧	⑪ ⑫	⑬ ⑭
24期生				
25期生				
26期生	②		⑨	⑩
27期生	④			
28期生				
10月7日の週	③ ⑤	⑥ ⑦⑨ ⑧⑪	⑩	⑬ ⑭
24期生				
25期生				
26期生				
27期生				
28期生				
29期生				
24期生(6月24日)	①②			
25期生(7月8日)	③④			
26期生(8月26日～)	⑤⑥⑦⑧			
27期生(9月9日～)	⑪⑫			
28期生(9月24日～)	⑬⑭			
29期生(10月7日～)	⑮⑯⑰⑱			

文字指導におけるグループ分け(バイリンガル相談員の支援なし)

5年生の時に6か月間、虹の架け橋教室で学んでいて、日常会話ができる。

日本語は全くわからない

・ゆっくり学ぶタイプの生徒である。集団の間わりによって、モチベーションが維持され、少しずつはあるが伸びている。

・あまりにも差が大きくなるようならば、次の集団に変更することも考えられるが、

幼児期に日本で過ごし、再来日した生徒や、母国で日本語を学習してきた生徒など、「日本語が全く分からない」生徒でも、日本語の力の差はある。

	中1数学 正の数・負の数	小学校復習 分数	日本式算数基礎 わり算の筆算など	プレテスト 数の言い方など
9月17日の週	①② ③④	⑤ ⑥⑦⑧ ⑨	⑪ ⑫	
24期生				
25期生				
26期生				
27期生				
9月24日の週	①② ③④	⑥⑦⑧ ⑨	⑩ ⑪ ⑫	⑬ ⑭
24期生				
25期生				
26期生				
27期生				
28期生				
9月30日の週	①② ③④	⑤⑥⑦⑧ ⑨	⑩ ⑪⑫	⑬ ⑭
24期生				
25期生				
26期生				
27期生				
28期生				
10月7日の週	③④	⑤⑥⑦⑧ ⑨	⑩ ⑪⑫	⑬ ⑭ ⑮⑯⑰
25期生				
26期生				
27期生				
28期生				
29期生				
10月15日の週		⑧		

数学におけるグループ分け

(バイリンガル相談員の支援あり)

毎週金曜日に打合せをして次週のグループ分けを考える。

指導者には、フレキシブルに対応する力が求められる。

安全に通級できるための方法

Q3 初期支援コースへは、どのように通級しますか。←

きぼう← みらい西← (小学生)←	<p><u>小学生</u>は、原則保護者の送迎です。ただし、保護者以外の送迎を希望する場合^{※1}、 詳しく事情を聞き、在籍校の学校長の判断を仰ぎます。←</p> <p>※1 保護者が送迎できないケースとして、知人や託児所に依頼するなどの方法が考えら れます。←</p>
みらい東← みらい西← (中学生)←	<p><u>中学生</u>は、徒歩^{※2}、保護者の送迎、自転車^{※3}、公共交通機関^{※4}を使って登校します。←</p> <p>※2 豊岡中学校・羽田中学校から 1.5km 以内に居住する生徒は、両中学校の通学← 路を歩いて通学します。←</p> <p>※3 許可を得た自転車で通学(設置校と校区を隣接する中学校に在籍する生徒)← 豊岡中学校と校区を接する中学校・・・東陽中、東部中、東陵中、青陵中← 羽田中学校と校区を接する中学校・・・南部中、吉田方中、中部中、牟呂中 ← ・自転車通学のガイダンス(自転車保険の加入の有無、ヘルメットの有無等)を行 い、自転車の整備状況を確認します。(在籍校、「みらい」のいずれかで)←</p> <p>※4 初期支援コースで公共交通機関利用のガイダンスを行い、通学経路を確認します。←</p> <p>←</p> <p>JR を使って通級する場合は、以下の手順に従って申請を行ってください。←</p> <p>■JR(学割定期)を利用して通学する場合← 在籍校の代表者が「実習用通学定期乗車券発売申請書」(申請書)により JR に申請← し、JR の承認を得る必要があります。申請方法は以下の通りです。←</p>

小学生

- ・保護者の送迎
- ・知人
- ・託児所

・外国人託児所関係者を
集めて、説明会を開催

中学生

- ・徒歩
- ・保護者の送迎
- ・自転車
- ・公共交通機関

・許可できる範囲を限定
 ・自転車通学のガイダンス

- ┌ 自転車保険加入
- ├ ヘルメット
- └ 自転車整備
通学路

初期支援コース通級中の学校保健関係の扱い

①身体測定、視力検査〔在籍校で実施〕

身体測定や視力検査など、金曜日の在籍校登校時に可能な検査は、在籍校で実施します。

②学校外の検査機関が行う検査〔初期支援コース設置校で実施〕

検査	必要な書類・キット	書類の移動	結果
心電図検査 (小1, 4, 中1)	心臓検診 問診票	在籍校の養護教諭 →初期支援コース担当教員	
尿検査	尿検査キット	在籍校の養護教諭 →初期支援コース担当教員	→在籍校
結核 定期外検診	対象者の名簿	①在籍校の養護教諭 →保健給食課 ②保健給食課 →初期支援コース担当教員 ・初期支援コース担当教員がホイップの 検査に引率して、検査を受けさせます。	検査機関 →在籍校

③校医検診(学校医が行う健康診断)〔初期支援コース設置校で実施〕

	小学生	中学生	事前保健調査(書類) 在籍校で配付して集めます。通級の 関係で、在籍校で回収できない場合 は、初期支援コース担当教諭に連絡 してください。	実施	結果(書類) 詳細はPII③ 参照
内科検診	全学年	全学年	運動器についての保健調査票 保健調査票	初期支援コース 設置校で実施。 「みらい西」の小 学生も羽田中学 校で実施。	初期支援コース 設置校(豊岡 田中、岩西小 養護教諭から 在籍校の養護教諭 に送付。「みらい 西」の小学校検査 分はみらい西の担 当教諭から在籍 校に送付。
歯科検診	全学年	全学年	歯科検診用アンケート		
耳鼻科検診	3年, 5年		耳鼻科アンケート	「みらい西」の小 学生は花田小 学校で実施。	
眼科検診	3年, 5年		眼科アンケート		

※「成長曲線」は、なくてもよい。(用意するなら在籍校)

健康的で安全な生活を送るためには、
学校保健を無視することはできない。

学校外の検査機関



校医検診

教育委員会の保健給食課と相談や調整を行い、
通級中でも全ての検査が受けられる体制を整える。

3.3 【報告5】豊橋市 初期支援コース「みらい」

築樋博子

在籍校へのつながり／金曜日の在籍校登校

1週目					2週目					3週目					4週目					5週目					6週目					7週目					8週目					9週目					10週目														
月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金

水曜日

在籍校→初期支援コース
・金曜日の時間割等の連絡

木曜日

初期支援コース
・金曜日の登校の事前指導
初期支援コース→在籍校
・1週間の指導の報告書

金曜日

在籍校
・Mission Possible
(在籍校の教員やクラスメイトが
関わることで達成できる課題)

♪「みらい」の日本語教材 R3♪

Mission possible

1	/	ぼく/わたしの がっこう
2	/	じこしょうかい
3	/	きゅうしょく
4	/	ていしゅつぶつ
5	/	きょうしつの せき
6	/	きょうしつに あるもの
7	/	じかんわり
8	/	きょうかの せんせい
9	/	こくさいきょうしつの せんせいに インタビュー
10	/	にほんじんの なまえ
11	/	としょしつの ほんを かりる
12	/	ぶかつどう
13	/	きょうかの じゅんび
14	/	ざいせきがっこうの べんきょう

初期支援コースの
スタッフの派遣

1

月曜日

初期支援コース
・金曜日登校の振り返り



在籍校へのつなぎ／修了前の打合せ

「みらい」修了後(2~3か月)の指導計画の共有

令和元年 月 日 ()

① 週あたりの指導時数	
② 取り出し教科	
③ 指導者	
④ バイリンガル相談員が 関われる時間の目安	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 週()時間程度
⑤ 「みらい」修了後の主な指導計画 (2~3か月程度の目処で)	
■日本語基礎	
文型	
文字	
語彙	
■技能別日本語	
話す・聴く	
読む	
書く	
■日本語と教科の統合学習	
数学	
国語	
英語	
その他	

時間割に関する情報

指導内容・教材に関する情報

⑥ 教科の副教材・教具		
国語	教科の副教材・用具に関する情報	
数学		
英語		
社会		
理科		
体育		
音楽		<input type="checkbox"/> リコーダー
美術		<input type="checkbox"/> デザインセット
技術家庭		
⑦ 教科の課題 (2~3か月程度の目処で)		
国語	教科の課題の情報 (2~3か月を目処に)	
数学		<input type="checkbox"/> 置き換え
英語		<input type="checkbox"/> 置き換え
社会		<input type="checkbox"/> 置き換え
理科		<input type="checkbox"/> 置き換え

テストの配慮 (2~3か月を目処に)

⑧ テストの配慮 「みらい」		
<input type="checkbox"/> 受けない <input type="checkbox"/> 全		
<input type="checkbox"/> 教科を選んで別室で受ける (<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 数学 <input type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 理科)		
<input type="checkbox"/> ルビ付き		
⑨ 部活動の参加	部活動の参加	
<input type="checkbox"/> 説明する予定がある		
<input type="checkbox"/> 説明する予定はない		
⑩ 「みらい」修了後の主な行事		
6月		
7月		
8月		<input type="checkbox"/> 翻訳 <input type="checkbox"/> 通訳
9月		<input type="checkbox"/> 翻訳 <input type="checkbox"/> 通訳

**みらい修了後の
在籍校の主な行事
(翻訳・通訳)**

*今年度の4~7月に「みらい」を修了する生徒を対象とした「みらいのサマワーク(日本語)」を作成する予定です。夏季休業中の国語の課題の置き換えとして使っていただくことができます。()さんの課題として希望されますか。(無償です)
希望する 希望しない

*市教委作成の「にほんごワークブック③④」は、日本語が十分ではない児童生徒に配慮した歴史教材で、社会の置き換え課題として使っていただくことができます。希望されますか。(無償です)
希望する 希望しない

在籍校へのつなぎ／「個別の指導計画」の引継ぎ

個別の指導計画 様式1 児童生徒に関する記録

フリガナ		性別											
氏名		生年月日											
住所		連絡先											
入籍年月日	令和4年(西暦2022年)4月25日	学校受入年月日	令和4年(西暦2022年)5月11日										
家族構成	父親	氏名											
	母親	氏名											
	兄弟姉妹	氏名											
	兄弟姉妹	氏名											
家庭への連絡	<input type="checkbox"/> 日文的な連絡が日本語で可能 <input type="checkbox"/> 懇談会や行事の説明会が日本語で可能 <input type="checkbox"/> 懇談会や行事の説明会に通訳が必要 <input type="checkbox"/> 翻訳文章が必要												
学年状況	月												特記事項
学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
2009	0												
2010	1												
2011	2												
2012	3												
2013	4												
2014	5												
2015	6												
小1	7												
小2	8												
小3	9												
小4	10												
小5	11												
小6	12												
中1	13												
中2	14												
中3	15												

個別の指導計画 様式2 指導に関する記録

校長	
副校長	
日本語テスト結果	
1年生調査調査	
日本語の力	
1a	支援を得て、簡単な自己紹介をすることができる。
1b	文字と音とが対応することを理解することができる。
2a	文字と音とが対応することを理解することができる。
2b	簡単な挨拶や日常よく使われる定型表現を聴いて、繰り返すことができる。
教科	学習意欲はあるが、来日したばかりのため、一斉授業の内容を日本語で理解することは難しい。

初期支援コース通級中の「個別の指導計画」は、初期支援コースで作成し、終了後に在籍校に引き継ぐ。在籍校の学校長が確認して印を押す。

「個別の指導計画」の様式は、豊橋市教育委員会作成。



指導計画		評価(指導内容・方法、学習状況、評価)
指導目標	1	
月	① ② ③ ④ ⑤	
日本語プログラム	【サバイバル日本語・日本語基礎】(5～7月) ①毎日の生活に関することを頻度の高い単語や定型表現を使って話す。(話す2b) ②学校生活に関係のある連文(2、3文)の簡単な指示や質問を、ゆっくりとした速さで繰り返し聞き、その内容を理解する。(聴く2a) 【技能別日本語】(5～7月) ①毎日の生活に関する事柄について、頻度の高い単語や定型表現、基本句型などを使って、連文(2、3文)を書く。(書く2b) ②絵などの支援を得て、日常生活でよく使われる言葉で書かれた短文を読んで理解する。(読む2)	【サバイバル日本語・日本語基礎】 ①在籍校の教科学習に参加するために、学校生活に必要な言葉(例えば様出物など)を増やし、日本語での平易な説明を自然な速さで聞く指導を行ない、大意を理解することができるようになった。その際、わからない言葉を質問することができた。 【技能別日本語】(5～7月) ①漢字教材(トッカーブ)の小学校1年生を学習中、毎日単語がきちんとできる。漢字テストに向けて漢字ノートに練習をしたり、漢字カードを使って練習したりして、漢字を覚えていこうとする意欲がある。 ②「日本語多読ライブラリー」を継続的に読む活動を行ない、漢字仮名混じり文の音読は、多少間違えることはあるが、読むことができるようになった。 ③動詞や形容詞の辞書形や名詞がわかるようになり、辞書を引くことができた。学習意欲に意味を調べたり、授業時にわからない言葉を自ら辞書で引いたりする様子がみられた。 【日本語と教科の統合学習】(5～7月) ☆数学 分数の四則演算では「通分」「約分」等の用語を覚えて、正しく演算をすることができた。正負の計算では、プラス、マイナスの区別をしてほとんど計算ミスがなかった。文字の式では、正しく代入をして、式の値を求めることができた。同級生も文字や分数の区別をしながら演算することができた。加減乗除の計算や分数の計算も途中式を丁寧に書いて解答を導くことができた。 ☆英語 何度も声に出して練習することで、積極的にコミュニケーション活動に参加することができるようになった。パワーポイントやデジタル教科書を使って、視覚的にわかりやすく文法を説明したことによって、文法への理解を深め、中1レベルの英文を日本語に訳すこともできるようになった。
特別の教育課程による日本語指導	特別の教育課程による日本語指導	

在籍校へのつなぎ／教材の提供

mirai no nihongo
みらいの日本語



- しる
- あお
- あか
- くろ
- みどり
- むらさき
- あいら
- みれいら
- もみいら
- ちいら
- だいらい

2023年 フィリピン生徒のための

みらいの
日本語サマワーク

①国産品はいつでも、カレンダーに合わせて色を塗りなさい。
②2学期の毎授業の1つです。カレンダーに合わせて三角を塗りなさい。
③このワークブックは、いつでも、どこにでも使えます。

いつ () 日
だれに ()

日	月	火	水	木	金	土
23	24	25	26	27	28	29
30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

にほんごワークブック




日本の歴史 (上)



にほんごワークブック

中学校生活
Let's Start



学校 年 組 番

名前



にほんご
みらいの日本語
れんしゅうちょう
練習帳

Stage 1, 2対応 + 1年の漢字



中学校 年 組 番

名前

日本語で
めんせつ がんば
面接を頑張ろう!



中学校 年 組 番

名前

にほんごワークブック

日本の歴史 (下)



年 組 番号

初期支援コースの
オリジナル教材や
豊橋市教育委員会
作成教材

市内全校へ初期支援コースの活動や修了後の支援情報等を紹介

豊橋市 日本語初期支援コース通信

きぼうとみらい

2024年1月
豊橋市教育委員会
日本語初期支援コース
NO. 17

きぼうとは、初めて日本の小学校へ通う児童とその保護者のために、入籍時にガイダンスを行っています。きぼうでの生活の様子を紹介するのはもちろん、日本の学校でのまじりを親子で知ってもらうことが大切からです。また、きぼう修了時にも、保護者向けに修了ガイダンスを行います。登下校の仕方や給食で準備するものなど、これから毎日学校生活が必要となることを再確認するためです。今回は、**入籍ガイダンスと修了ガイダンス**をどのように行っているかをご紹介します。

きぼう入籍ガイダンス

まずは、きぼうに通う期間やきぼうでの一日の流れなどを、パワーポイントを使って説明します。言葉の説明だけでは日本の学校生活のイメージがでない児童や保護者のために、パワーポイントは図や写真、映像を多用することももちろん、ポルトガル語、タガログ語の音声が入ったものを用意しています。それにより相談員さんやTBさんには説明の補正や保護者の質問や要望を聞いていただく余裕ができ、より丁寧な対応ができています。

きぼうの概要を理解し、きぼうに通級できることが確認できたら、生活のまじりや持ち物について「入籍ガイダンス資料」の冊子とパワーポイントを併用して説明を進めていきます。

1 きぼうとは (2~6年生)

2 きぼうの一日 (目録表)

3 きぼうのまじり (p4)

4 べんとうについて (p9)



豊橋市教育委員会 外国人児童生徒教育資料HP

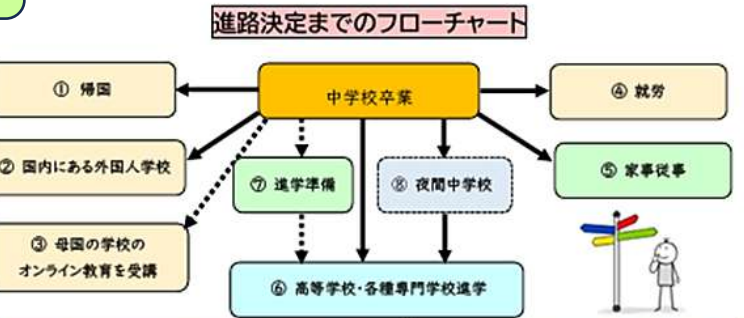
豊橋市 日本語初期支援コース通信

きぼうとみらい

2023年12月
豊橋市教育委員会
日本語初期支援コース
NO. 16

初期支援コースを終了生徒のキャリア形成を考える

立冬が過ぎ、中学校ではすでに高校進学を見据えた保護者会が行われています。初期支援コースを修了し、中学校に戻った中学3年生たちも、進学を希望する生徒にとっては受験校を決定する時期です。一方で、進学を希望していない生徒や就労を希望している生徒もいて、進路選択は様々です。そこで今回は、中学校段階から来日した生徒たちにスポットを当て、それぞれのキャリアアープについて考えていきたいと思います。



日本の教育機関に進学を希望しない場合

①については、いつ帰国する予定しているのか、帰国して進学する場合は、どんな書類(在学証明や成績証明書など)が必要かを確認する必要があります。(帰国書類については、豊橋市外国人児童生徒教育資料HPを参照してください。)

②は、母国の教育機関への進学です。豊橋市内にはブラジル人学校が2校あります。下地にあるEASはブラジル教育省の認可校で、愛知県の各種学校の認可を受けており、文部科学省の高等学校等就学支援金制度の対象校です。EASの高等部を卒業した生徒は、日本の大学の受験資格も得られます。③また、コロナ禍で母国の高等教育機関がオンライン授業を始めるケースもあります。いずれにしても、本人と保護者に将来を見据えた選択が必要であることを伝え、バイリンガル相談員にも相談して、詳細な情報を得るように助言をします。

④就労については、ハローワークでの中学卒業生への求人はいまだ少ない状況です。家族や知り合いに紹介してもらうか、自宅近辺でアルバイトをする選択肢が現実的です。

日本の教育機関に進学を希望する場合

⑥進学を希望する生徒には、日本での進学の情報を早い時期から伝えていくことが大切です。教育委員会では、中学校における進路説明会や保護者会に通知を派遣したり、母語訳を付けた「進路の手引き」を作成したりして、学校での進路指導の支援をしています。「進路の手引き」は教育委員会から市内の全中学校に配布済みです。中学校2年生の進路の説明会でも、ご活用ください。

⑦は、2025年度より、豊橋工科高校に「県立とは異なる中学校」が開校される予定です。学習状況に応じて短縮や最長6年までの延長も可能で、小学校の授業の学びなおしができる「学習状況に応じたコース」や「日本語指導に重点を置いたコース」から選択できるようです。詳細は、愛知県教育委員会のホームページをご覧ください。

進学も就職もしない場合

⑤家事従事を選択する生徒については、その理由が多様な状況であるので、支援についても一概に言えません。しかし本人や保護者は、地域の支援者や支援機関の情報を知らないことが多いと、孤立化することもあります。今後について相談できるように、支援機関につなげることも大切なことです。

⑦平日の短い外国人生徒の中には、進学を希望しながら、日本語や学力に不安を感じている生徒は少なくありません。卒業直後の進学ではなく、1年後の進学を目指して、進学準備をすることも考えられます。裏面に地域の支援機関の情報を挙げました。他にもあると思いますが、参考にしてください。

学率、中退率から考えるセーフティネットの必要性

文科科学省の調査によると、日本語指導が必要な中学生の受入状況に関する調査より

	日本語指導が必要な中学生等	全中学生等
就学率	89.9%	99.2%
中退率	5.0%	0.6%
進学率	6.7%	1.0%
就業率	51.8%	73.4%
就業せず	39.0%	3.3%
就業せず	13.5%	6.4%

文科科学省の調査によれば、日本語指導が必要な中学生等(日本国籍も含む)の場合、進学率は全中学生等を9.3ポイント下回ります。進学も就職もしない子は全体の約8.3倍です。高校生は隔たりが一層大きくなり、21.6ポイント低くなっています。中退率は全体の6.7倍、進学も就職もしない子は2.1倍は倍々に考えられますが、日本語の壁が1つの要因になっていることは確かです。「学びの壁」として、今まで知らなかった支援情報を知っていくことは、とても大切なことです。

地域社会とのつながりを持ち続けるために

新年度は、日本語がわかる、わからないに関わらず、外国人児童生徒やその家庭は、学校を通しての接点を持つていえます。けれども、中学校を卒業した後は、社会との接点が希薄になり、折角進学した高校を誰にも相談せず、何のアドバイスも受けることなく、簡単に辞めてしまったり、外国人生徒(その家族も含む)が地域社会との接点を得ることで、自治体やNPOによる支援を受けられることにつながります。他者との接点があれば、現時点では就労や進学が将来的にそれぞれの可能性が高まるような選択肢を残しておくことができます。下記ご紹介中の今からでも、関わりがもてる団体です。多様な生徒を受け入れる中で、教育関係者である私たちも、今まで知らなかった支援情報を知っていくことは、とても大切なことです。

前法人 豊橋市国際交流協会
国際交流、多文化共生、人材育成、多様な事業を柱に地域の国際化の推進

豊橋市こども若者総合支援センター ココエール
ココエールは、0歳から40歳未満までの子どもや若者及びその家族に関する相談(子育て、発達、学校生活から就労まで)から支援までを対応しています。学習支援として、週1回のペースで通うことができます。英語が話せるスタッフもいるので、日本語でコミュニケーションが取りにくい場合でも対応していただける機関です。

特定営利法人 フロンティアとよはし
豊橋市の3か所(東郷地区市民館、若田田舎集会所、南郷地区市民館)で日本語教室や医療相談を行う団体として15年以上活動している多文化共生社会を目標としたNPO法人です。それを受け、外国人市民の抱える「教育」「生活」「就労」などの社会的課題を行政、学校、地域組織、企業と共創し、様々なプログラムで包括的に支援しています。

きぼう修了ガイダンス

きぼう修了時のガイダンスでは、児童の学校での様子を伝えつつ、今後在籍校での生活で必要になる登下校、持ち物、遅刻・欠席連絡、給食などについて再度確認をしています。

毎週金曜日に在籍校へ登校しているため、登下校や毎日の持ち物などはわかっているようですが、給食当番のエプロンセットや教科書によって必要な教材・教具(リコーダーや彫刻刀など)については、まだ準備していないことがあります。他には、給食費や学年費の集金案内の見方や集金方法の確認を行います。

また、引越越し・帰国する際にはまず学校へ連絡してほしいことを伝え、ガイダンスを行うことで、必要なことを再確認し、しっかり準備をして学校へ通ってもらえるように支援しています。

1 登下校 (Suigaku)

2 学校を回る (Gakko wo mawaru)

3 給食 (Iyashoku)

4 教材・教具 (Iyashoku)

5 引越越し・帰国 (Ikkokochi・kikoku)

児童生徒が多文化共生社会に参画し、共に地域の活性化を担う仲間として活躍できるように考えていきたいですね。

4. ディスカッション

事実関係の確認

プレクラスにおける
来日直後の子どもたちの
変容

参加者の各教育現場での
プレクラスの
課題と解決策

プレクラスの可能性